

## 2025年度 佐久長聖中学校 学校関係者評価

目指す学校像	教育理念「自由と愛」のもと、生徒一人ひとりの個性を尊重し、楽しく充実した学校生活を通して、生徒たちが魅力的な人間に成長できる環境整備を積極的に推進する。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 魅力ある授業を生徒に提供できるための教科指導の研鑽に努める。</li> <li>2. 生徒の進路実現に向けて、進路指導体制の発展に努める。</li> <li>3. 生徒との前向きな対話のある生活指導・学級運営を行う。</li> <li>4. 心身ともに健康で明るい学校生活をが送れるよう、生徒の人権を尊重し安心安全な学校づくりを進める。</li> <li>5. 学校の教育活動を生徒や保護者、本校志願者、地域に対し、幅広く情報発信を行う。</li> </ol>
------	--

	評価項目	評価の観点	評価等
1	学習指導 進路指導	生徒の学ぶ意欲を引き出し、主体的に取り組む態度を育む授業が行えたか。	生徒の興味・関心・意欲を引き出して、主体的に取り組む態度を育むために、視覚教材の工夫・生徒間の活発な意見交換の時間の確保・高校範囲及びプラスαの要素の授業への導入等の創意工夫に基づく授業が行われていることがわかった。一方で、学習進度を気にするあまり、生徒間の話し合い・探究活動等の時間が十分でなかったり、意欲のない生徒等への対応が不十分であったりするために、生徒の実情に即した授業実践等に基づく授業改善を行っていくことが求められる。生徒一人ひとりが自ら学ぶ意欲を感じられて、主体的に取り組む姿勢を育ていけるような授業をお願いしたい。
		問題発見力、課題解決力、表現力、コミュニケーション能力を養う授業を展開できたか。	発問の設定・話し合いの機会の確保・普段の日常会話における英語の多用・時事問題の活用・自分自身の考えのまとめ及び記入等のさまざまな活動を取り入れた授業展開の工夫がなされており、それによって自分なりに問題・課題に取り組むことができる生徒・自分の考えを相手にわかりやすく伝えることができる生徒が少しずつ増えてきていることがわかった。しかし、受け身で主体的に取り組めない生徒がまだまだいるのが現状であるために、生徒のやる気・意欲・関心等を引き出して、主体的に取り組む場面を設定していくと同時に、目の前の生徒の現状をしっかりと的確に把握していくことをお願いしたい。
		生徒の希望進路を実現するために、大学入試についての研究を行い、生徒個々に対応した指導が行えたか。	大学入試での出題内容を意識した授業を展開したり、模試結果の推移の分析に基づいて面談・懇談を実施したり、助言をしたり、授業内で高校進級後のカリキュラムを説明したりすることで、生徒たちの希望進路の実現に向けて、将来や大学入試への意識付けがなされていることは良いことである。一方で、中学校と高校との情報共有の連携をもっと密に図っていくべきである、生徒個々に3・4年後をより身近に感じさせる工夫を考えていくべきであるなどの課題があるということで、そうした新たな課題の一つ一つが改善されて、これまで以上に生徒個々に対応した指導が行われることを期待したい。
		大学のさらに先を意識しながら進路を考えられるようなキャリア教育や進路指導を実践していたか。	卒業生の大学進学及びその後の職業の紹介、職場体験・探究活動等の指導を通して、生徒たちにこれからの時代に必要とされる物事の捉え方・思考・発表の方法等を生徒とともに深めたり、新聞・ニュース・読書を通して、生徒たちに自分の世界を広げるような働きを促したりして、キャリア教育が行われているために、それは今後も継続していってもらいたい。また、今後は、さらに授業内でも自分自身の将来に繋げて生かせるような指導を継続的にやっていく工夫、具体的に考えること・イメージすることをより深くさせていく工夫が必要であるということで、その点をしっかりと実践していってもらいたい。
2	生徒指導	校内外問わず、いじめ・暴力・SNSトラブルなどのない安心・安全な学校生活を送るための啓発活動を行い、情報収集を行えたか。	生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるように、先生方が学校内を定期的に見回られて、生徒たちの様子を注意深く見守っておられること、生活実態アンケート等を通して、生徒の様子を知る取り組み等がなされていること、生徒に対する個別面談の実施・啓発活動の展開・教員間での情報共有等が密に行われていることがわかった。一方で、近年、急増しているSNS上のトラブル等については、プライベートな側面が強いために、なかなか全体像・実態を把握して、適切な指導を行っていくことが年々困難になりつつ現状が見られるが、今後も継続的に粘り強くご指導されることをお願いしたい。
		生徒に体罰や暴言と捉えられるような言動を行わなかったか。	先生方がご自身の言動をしっかりとコントロールされたり、生徒に対して丁寧かつ冷静な対応を心掛けておられたり、日頃から生徒への言葉掛け・態度等が乱暴になつたり、時代にそぐわないものになつたりしないように注意されて、生徒一人ひとりに対して適切なコミュニケーションを日々取っておられることがわかった。しかし、すべては受け取り側の捉え方次第であることを踏まえて、今後も子どもたちに対して体罰・暴言と捉えられるような言動がないように努めてもらいたい。
3	保護者連携 地域連携	保護者や外部からの声に対してきちんと対応・返答できたか。	保護者からの問い合わせ・外部からの声に対して、各所と協力及び情報共有を図りながら、丁寧かつ誠実に、さらには迅速に対応されていること、また保護者からの相談に対して、親身に細部まで話を聞くなど対応されていることを感謝している。しかし、近年では要望が非常に多様化・細分化してきている現状が見られるという話を受けて、働き方改革が進む中で、保護者・外部からの要望に対して、どこまで対応すべきか、また対応できるかを考えていくことも必要である。
		ホームページ・Classi等で積極的に学校・学年・学級・クラブ等の情報発信ができたか。	Classiを活用して、学校全体として学校・学年に関するさまざまな情報を広く発信されていることは大変ありがたく思っている。ただ、忙しい時期は情報発信の内容が薄くなつたり、発信回数自体が減つたりする課題があるということなので、その点を改善していくための方策等の検討をお願いしたい。また、ホームページ上で、もっと生徒の活躍している姿・様子が見られるように、日頃の活動の掲載をさらにこれまで以上に増やしていくような改善の検討もお願いしたい。